



平成20年最後となる第4回定例会は、12月4日から16日までの13日間にわたり行なわれました。今議会では市長提出議案32件、議員提出議案17件、請願・陳情8件を慎重に審議し承認しました。また、一般質問では小林いちゆき議員と内藤みき子議員が登壇し、市の行財政全般に対し質問を行ないました。

一般質問

## 小林 いちゆき議員

### 緊急経済対策・市民サービス・ネーミングライツの3点について質問。

- 1 緊急経済対策では「定額給付金」への期待と認識、高額所得者への対応について市長に伺う。

(市長答弁)

「定額給付金」は、生活支援として一定程度有効である。市内の産業活性化に期待を抱く。早期の実施が望ましい。給付にあたっての所得制限は設けない。庁内の体制について、副市長を中心に検討を行ない早急に取り組むよう指示。全庁的な体制で円滑に実施できるよう取り組む。

- 2 市民サービス向上では、多くの市民から苦情が殺到している市民課の待ち時間解消対策について市長に伺う。



(市長答弁)

年間を通して混雑した実態が見受けられ、特に年末・年度末には長時間お待たせし、ご迷惑をかけ申し訳ない。業務の民間委託を改めて強く指示。年度をまたぐ次の繁忙期には、可能な限りの取り組みを実施。

- 3 民間の資金やノウハウを活用するネーミングライツ(命名権)導入について伺う。

(部長答弁)

自主財源確保に向け、積極的に取り組む。

一般質問

## 内藤 みき子議員

### 部活動の活性化について

都議会公明党の推進で19年4月に規則が一部改正され、部活動は学校の教育活動の一環として位置付けられ、部活動の指導業務(顧問)を学校外の者にも委託ができると定められました。これにより生徒のニーズに応じた部活動の設置、廃部問題等の解決の道が開かれました。そこで、3点にわたり質問をいたしました。

- 1 改正後、調布市の部活動の運営についての検討や現状は。
- 2 外部指導員の拡充や講演会の実施など支援策を図るべきでは。
- 3 調布市全体の部活動を向上するために、調布市のハンドブック等の作成を。

### 市民のコミュニティについて

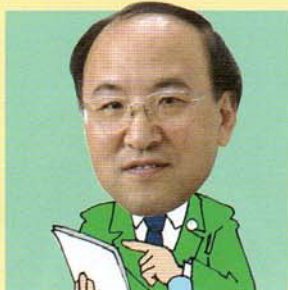
自治会の解散で、掲示板が撤去されたり、市民が掲示板を自由に利用できないといった声が寄せられています。そこで、市民が地域の情報交換やPR活動の場として自由に利用ができ、且つ市民のコミュニティのツールとして、**市民専用掲示板の設置**を求めました。



くらし・市への要望等お気軽にご相談ください!



たちばな正俊  
090-8119-1492



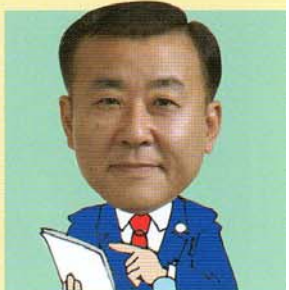
おぎくぼ貞寛  
090-2553-7958



内藤みき子  
090-8178-2211



福山めぐみ  
090-8518-2559



小林いちゆき  
090-9808-8380